



理事長あいさつ

～おいしいお米、たくさんとれるといいね～

新たな令和時代になりましたね。私たちにとって夢や希望に満ちた時代であってほしいですね。羽ばたきの令和元年幕開けのイベントは、白うめ塾との田植えでした。ボランティアを含めて、100名近い方々が参加し、いつもは静かな里山が、元気にはしゃぐ子どもたちで大にぎわいでした。身体中、泥だらけになりながら、農家の方に教えて頂いたとおりに、丁寧に苗を植えていきました。田んぼ一面に綺麗に植えられた苗を見て、みんなとても満足そう。この小さな苗も、しっかりと、根を張り、10倍以上に成長し、美味しいお米になるとの事、秋の稲刈りや収穫祭がとても楽しみです。自然豊かな美しい市貝の素晴らしさを発見しながら、今後も、自然体験活動を行っていきます。川遊びをしながらの生き物観察会や神秘的なホタル観察会など様々なイベントをおこなっています。ご家族で遊びにいらして下さい！

『地域でだんらん。笑顔もご飯もりだくさん』をテーマに3ヶ所で行っている地域食堂も3年目になりました。誰もが気軽に利用できるので、待ち合わせをしてきて下さる方々が増えました。食後に子どもたち同士で遊んだり、大人の方はおしゃべりを楽しんだりしています。地元のとれたての野菜の差し入れもあり、安くておいしくて楽しい場所だと好評ですので、ぜひ、いらしてくださいね。

設立して6年目を迎えたいちかい子育てネット羽ばたきは、①子育て広場 ②学童保育 ③自然体験学習 ④多世代交流事業を行っていきます。今年度から新たに⑤ファミリーサポートの事業を委託されました。子育てをしている方々が、必要な時に気軽に利用できるように柔軟に対応していきたいと思っております。提供会員や利用会員を募集していますので、ご協力よろしくお願いいたします。私たちの活動は、多くのボランティアの皆様によって支えられています。これからも元気な子どもたちの輝く笑顔と接しながら、様々な活動を行っていきたく思いますので、皆様の温かなご支援とご協力をお願い致します。

きぼうの丘学童クラブ

きぼうの丘学童クラブは「家庭でもない、学校でもない、地域の居場所を作ること」を目的とし、保護者と子どもが安心出来る第二の家庭として、その場を提供していく」という事を掲げて発信し、この春6度目の桜の季節を迎えました。3月には開所時2年生だった児童（男子1名、女子1名）の卒業・巣立ちを見送りました。たくさんの思い出が胸いっぱい広がって涙が溢れてくる瞬間もありました。新年度、新一年生（8名）を迎え、常時43名が学童を利用しています。長期休暇には単発申し込みの児童が増えて、より一層にぎやかな毎日になります。

下校後、学童の送迎バスや乗用車でクラブに帰って来ます。

「ただいま!」「おかえり!」子どもたちの元気いっぱいの声が部屋に響きます。保護者の方々のお迎えが来るまで過ごします。「宿題やろうね!」スタッフの声掛けで、ほとんどの子どもたちは頑張ります。「ここ、わからないよ〜。」「どの問題?」子どもとスタッフのやりとり。上級生が下級生に優しく説明してあげる光景もあります。高学年の問題になるとスタッフも考え込んでしまうこともありますが、共に考えて答えを導き出す過程も大切だと考えています。晴れた日は広いグラウンドでサッカーや遊具遊び、砂遊び、虫取りなど、様々な遊びを楽しんでいます。体育館を使える時は、バトミントンも教えてもらいます。部屋の中ではボードゲームや読書にお絵かき、ごっこ遊びも大好きです。子どもたちは、学年や性別、通っている学校が違って、それぞれの遊びを通じて、心からふれ合います。そして、学童でのおやつタイム。「今日のおやつは何?」スタッフがメニューを考えてひと手間かけた手づくりおやつが子どもたちは大好きです。おかわりの分の用意も欠かせません。班ごとに分かれて食べた後は、当番制でテーブルを拭いたり、片付けたりも和気あいあいとやっています。長期休み（夏・冬・春）には、朝から夕方までの長い時間を学童で過ごします。講師や地域のボランティアの皆様を迎えて、体験型のイベントや遊びの時間を共有し、バスで遠足などにも出かけています。手作りの作品は「こどもまつり」で展示したり、夏休みの工作として学校に提出する児童もいます。日頃体験することが出来ないことも、長い休み中なら子どもたちの意欲や好奇心を満たしつつ、成長へと繋げていけると信じています。

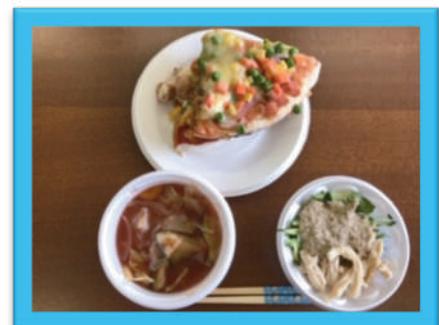
私たちスタッフは、楽しい時間はもとより、日常のあらゆるトラブルや問題もひとりひとりに寄り添って、信頼関係を築き、優しさや厳しさをもって子どもたちと過ごしています。また、小学校の先生方とも情報交換会を開くなど、子どもたちのより良い育成のために絆を強めています。

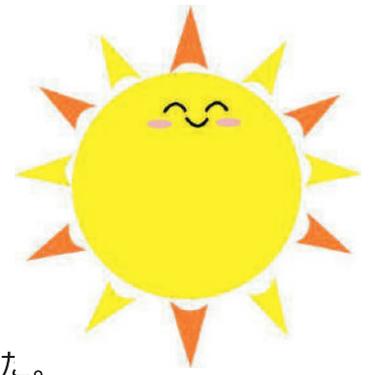
恵まれた里山の環境の中で、地域の皆さまのご協力を頂きながら、今年度も精いっぱい頑張っています。



夏休み恒例の金曜日の
手作りランチ。
ボランティアの方々もたくさん
来ていただき、おいしいお昼を
作ってもらっています。

いつもおいしい、お昼ごはん♪
隣の写真のシューマイは子どもたちで作って、おいしくいただきました。
おうちでも作ってみてね。





夏は冒険の季節。
朝のラジオ体操で一日が始まりました。
絵手紙、ペーパークラフトでペットボトルホルダーづくり。
ボランティアのお兄さんやお姉さんたちと椅子の製作。
金づちも上手に使えるようになりました。
遠足はツインリンクもてぎへ。
森の探訪や迷路のアトラクションは、汗をかきながらゴールを目指しました。
栃木県防災館へも出かけました。
実際に起こりうる災害に備え、地震・大風・煙・大雨の疑似体験は、なかなか経験することのない学習でした。
「こどもまつり」のそれぞれのお店は子どもたちの準備で開店し、「いらっしゃいませ～！」の音が響き渡る大盛況のおまつりになりました。



2018年の夏は、刺し子に
絵手紙挑戦！！

針がチクリと刺さるたびに
痛い！！
でも、慣れてきたら、す
いすい縫えました。

絵手紙も味のある作品ば
かりでした。



エコクラフトにも挑戦！！

鈴木奈津子先生とペットボトルホ
ルダーを作りました。
あくせくしながら、みん
な完成させたよね。





もりだくさんの夏は、遠足に、窓洗いに、泥団子作ったり、たくさん思い出作りしました。
ツインリンクの遠足では、普段入る機会も少ない、VIPルームで、暑さ対策しました。

～あき～

秋は学びの季節。

運動会で元気いっぱい走り、競い、踊り、手を振ってくれる子どもたちは学童でもしっかり練習していました。

秋が深まるグラウンドに落ち葉がいっぱい。

掃き集めて落ち葉の山をプールに見立て、ダイブして遊ぶ放課後でした。



冬は歓びの季節。

二学期の終業式はクリスマス。おやつはシフォンケーキに自分でデコレーションして食べました。そして、冬休み初日にお楽しみ忘年会。プレゼントを選べる大抽選会や、空き缶積みゲームもしました。

新年を迎え、杵と臼でペタン、ペタン！のお餅もついて、出来立てを頼りました。

～ふゆ～



2018年の冬も、クリスマス会で、ケーキのデコレーション。年末大抽選会も毎年盛り上がります。

新年を迎え、もんじゃ焼きも食べました。餅つきもやったね。





春は出会いと別れの季節。

いつも優しく頼りにしていたお兄さんとお姉さんとの別れ。

卒業を祝う会ではスタッフ手作りのお祝いのペンダントと色紙などをプレゼント。

一年生が「おめでとうございます。」のこぼれとともにペンダントを首に掛けてあげました。

「みんな勉強も運動も頑張ってください！」と励ましの言葉をもらいました。

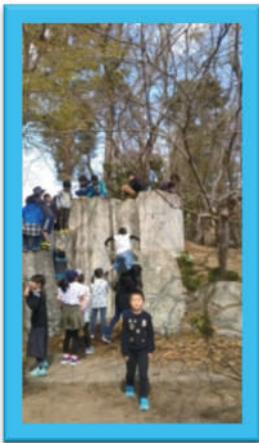
進級お楽しみ会では手作りランチのカレーを食べて、欲しいノートを選び、新学年の抱負を聞かせてくれました。新一年生の歓迎会も手作りバイキングで食を共にし、自己紹介も、上手にできました。

春休みのお出かけは真岡の井頭公園へ。鯉の餌やり。広々とした芝生で駆け巡り、変わり自転車では大歓声をあげて遊びました。

新しい年号発表は、テレビの前でその発表の時を見守り、今か今かと待ちました。

「令和」の声を聴き、みんなで拍手しました。

そして、心弾ませ、新学期のスタートを迎えました。



2019年の春。

6年生2人が卒業し、新たに8人の新1年生を迎え、春の遠足に、避難訓練、春もたくさん遊びました。

真岡井頭公園では、鯉のえさやりになり変わり自転車。

そして、高いところがあると登る、子どもたち。

おもしろいね♪



自然環境を学ぶ事業



サシバの里 いちかいで

発見！体験！感動

私たちが手作りで、提供する自然体験は...

ふだん、何気なく通り過ぎてしまう景色も地域の人々を講師に招き、地域の人から話を聞き、人々の温かさに触れ、市貝町の里地里山の良さを知り、体験することで、通過点が着地点となります。

子育て世代と地域とが交流できる関係づくりも重点におき、自然体験活動の拠点を市貝町におかせていただいています。

2018年は・・・

4月	筍掘り&種まき	○大谷津の里山にてここにある！と大きな歓声！筍ご飯をみんなで食べました。午後は初めて稲の種まき体験稲の力を信じて…
5月	田植え	○種まきをしたモミがしっかり芽を出し、苗に。3本ずつを合言葉のようにみんなで植えました。白うめ塾のお友だちも地域のお友だちも頑張りました。
6月	サシバと水辺の生き物観察会	○本当にサシバに出会えてビックリ！サシバが餌としているのはカエルが多い約6割はカエルを食べているんだって！水辺の生き物を観察して、カエルやヘビたくさんの生き物を見つけました。
7月	森で遊ぼうハンモック	○伊許山からの谷津田を眺めたり、緑のなかでハンモックを編んだり、とても癒されるひとときとなりました。カレーも格別でした！
8月	夕涼み交流会	○地域食堂×こども祭り×夕涼み会ということでたくさんの方々と交流をしました。
9月	稲刈り	○白うめ塾のお友だちと一緒に稲刈り。鎌の使い方も上手になり、あちらでもこちらでも、稲刈り名人がたくさんいました。
10月	秋の虫探し	○秋の虫探しINハロウィンパーティーということで、観光協会主催のイベントコラボ 仮装のお友だちが田園を散歩する姿も素敵でした！
11月	収穫祭	○秋の実りを喜び餅つきやウォークラリー形式でセクションをクリアして楽しみました。白うめ塾のお友だちとグループになりたくさん遊んだ1日でした。
12月	しめ縄	○神様をお迎えしよう新しい年が良い年になりますように。と心を込めて親子で作りました。
1月	落ち葉プール	○冬の里山は天気が良いと気持ちいい！落ち葉にもぐって宝さがし。お父さんお母さんも子どもに戻って遊びました。焼きおにぎりも最高！
2月	森でクラフト	○春の日差しが差し込む希望の丘にて。ロビンフット顔負けの弓の名手達。
3月	泥団子づくり	○ましこ光る泥団子teamツチカラの皆さんと一緒に世界に一つだけの泥団子を作りました。泥つけ、磨きと気が抜けない作業にも親子で取り組みました。

白うめ塾のお友だちとのコラボイベント



田植え・稲刈り・収穫祭
ボランティアさんの協力のもと、大盛況です。
子どもたちの楽しい笑顔がいいですね。
地元の子どもたちにももっと参加してほしい！！



こっちもたのしく活動したよ。



種まきからのタケノコ堀。タケノコご飯旨し。
遠藤先生とのサシバの観察会。お勉強しました。
伊許山でハンモックづくり。すてきな作品ができました。ゆらゆら♪



ハロウィンの
仮装観察会。
カッパ先生も
バッタだった
ね。

親子で頑張っ
たしめ縄。

落ち葉プールは

暖かくて、サイコーだったね。

やっぱり、焼き芋旨し。

自然と戯れた1年
でした。



多世代交流をする事業

平成29年度よりスタートした、サロン型地域食堂を開催して2年が経ちました。拠点だけでなく、巡回し小学校区で開催していることが大きな特徴です。

①小貝小学校区 羽ばたき拠点

きぼうの丘学童クラブに通っているお子さんの家族を中心に、ご近所の方、地域食堂をたまの外食?のような雰囲気での利用が中心となっています。

友だちとゆっくりおしゃべりができると参加。

ボランティアの固定で、当日の調理等の心配がいらぬ。

課題・・・地域に住む高齢者が参加しやすい、環境を整えていきたいと思っています。



②市貝小学校区 サシバの里自然学校

150年の古民家で、まるでおじいちゃん、おばあちゃんちに帰ってきたような雰囲気、動植物と触れ合うことができます。参加者は自然学校を知っている大人を中心に、地域の方、子どもたちが集うことが特徴となっています。

ボランティアの固定で、当日の調理、駐車場整理等心配がない。

課題・・・市貝小学校区でおこなっているが、市貝小の児童、保護者への周知が十分ではないので、周知をすすめていきたいです。



③赤羽小学校区 赤羽南公民館

自治公民館での開催ということもあり、高齢者、親子と近隣住民が中心に、遊びに来てくれています。今年に入り、赤羽小の児童親子の参加増えています。月に1度の開催を毎月親子で楽しみにして下さる方も増えています。

課題・・・参加人数が読めず、ご飯がたりなくなることもあります。ボランティアが固定されず、当日の準備がままならないこともありますが、SNS等で呼びかけ、参加を促すときもあります。

地域で生きがいを持って、ボランティアに参加してもらえるよう周知に努めていきます。

～今後～

2年間の活動を終え、一定の周知と「みんなでご飯を食べる」という取り組みはクリアされているように主眼です。

近穂、各機関と典型をし、地域の特性を踏まえながら、生活に困難を抱えていたり、地域と交わりが難しい人々と地域を結ぶことを課題とし、引き続き取り組んでいくことができればと考えます。

三地区の特徴



◎小貝小地区

羽ばたき拠点(旧小貝中央小) コミュニティルーム

- ・きぼうの丘学童クラブの子どもたちやその保護者を中心とした親子、地域住民が多い。

◎市貝小地区

サシバの里自然学校

- ・築150年の古民家自然学校の地域貢献として、2か月に一度の開催に場所を提供していただき、協働させていただいている。SNSの呼びかけや口コミ、自然学校を訪れている方、地域住民の参加が多い。

◎赤羽小地区

サシバ未来館(8/28～)

- ・新しくできた、交流館にての開催。

ボランティアさんの声

参加者さんの声

地域食堂には、月に2回ほど親子で、利用させてもらっています。毎回、いろいろなお料理がでて、とてもおいしいです。子どもたちは、食事が終わると、トランプやボードゲームなどで遊び、楽しいひと時を過ごしています。だから、子どもたちは、地域食堂が大好きです。これからも、ぜひ利用させてもらいたいと思います。

市貝町
Iさん



ボランティアを始めて2年目になりました。初めは不安でしたが、食べに来て下さる方たちの美味しいと言う声に励まされ、また、先輩の方からの適切なアドバイスで楽しく料理を作ることが出来ます。作るのも食べるのも楽しい時間です。

市貝町
Fさん



ファミリーサポートセンター事業

仕事と子育ての両立支援を目的として、平成6年から国の補助事業として始まり、四半世紀の間続いている事業です。

平成17年度から「ファミリーセンター事業」を女性労働協会が自主事業として受け継ぎ、相互援助活動のための運営支援をおこなっています。

平成27年の「子ども・子育て新制度」により、国の子育て支援の体系が大きく変わり、ファミリーサポートセンターの活動は「地域子育て支援事業」のひとつとして、地域での多様な子育てのニーズに対応する事業として、重要な役割を担うものとなっています。



市貝町ファミリーサポートセンターは平成28年に開設されました。当初より、事業を展開してきたようですが、昨年12月1日に羽ばたきがその事業運営を受託しました。

引き継いだ事業内容を確認し、市貝町にファミリーサポートセンターがあることを知ってもらうとともに、会員(提供会員・利用会員)登録してもらえるように、PRしました。市貝町ファミリーサポートセンターのパンフレットの製作と配布(市貝町の保育所・こども園・小中学校に通う保護者)をおこないました。広報誌への掲載もおこないました。

提供会員の養成講座の開催、市貝町の民生委員さんをはじめ、各ボランティア団体の総会等に出向き、説明させていただきました。

平成31年3月末現在の登録会員数は

- 利用会員 12名
- 提供会員 16名
- 両方会員 4名



6月の養成講座も無事終わり、次回は10月を予定しています。

たくさんのご寄付・ご協力ありがとうございました。

(敬称略)
(順不同)

賛助会員のみなさま

北折望 國井弘子 赤羽和子 大畑耕平 鈴木奈津子

寄付をいただいたみなさま

関澤久子 黒崎浩 小林勇一郎 原田綾子 小林清美 小森峯子 荒井豊 軽部みよ
小林隆人 相田豊 行田敦子 東上圭司

ホームページも更新しています。
ぜひ、ご覧ください。
URL <https://www.i-habataki.org/>

特定非営利活動法人 いちか子子育てネット羽ばたき

〒321-3404 市貝町続谷1143-3 旧小貝中央小学校内 1階

携帯TEL * 090 - 3533 - 6521

FAX * 0285 - 81 - 7077

メール * [habataki_ichikai_0_100 @ yahoo.co.jp](mailto:habataki_ichikai_0_100@yahoo.co.jp)

